

校長室だより

No. 3

平成 29 年 4 月 21 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

か とう よし かず  
加 藤 嘉 一

### 家庭訪問ありがとうございました

初日は雨が降るなかでの家庭訪問となりました。風も強かったため、色鮮やかに咲いていたチューリップの花びらが、ずいぶん飛ばされてしまったほどです。訪問する職員に様々気づかいをしてくださった御家庭があったことを聞きました。ありがとうございました。家庭訪問は年度初めの個別の相談、緊急時のために家の確認などを目的に行っています。時間の融通など、大変御協力いただいたと思います。ありがとうございました。



### 授業で育てたい子供の姿

#### 本年度の経営方針

ア 基礎的・基本的な知識及び技能の習得と、課題を解決するための思考力、判断力、表現力等を育むとともに、多様な人との協働を促す教育の充実を図る。

#### 本年度の重点努力目標

##### ア ベんきょうがだいすきな子を育てる

- ・正しい姿勢や学習用具の正しい使い方を身につけさせるとともに、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図る。
- ・子供のものの見方や考え方、感じ方の理解、「問題を見いだす」、「見通し」、「振り返り」を大切にした問題解決的な単元・授業の構想、知識・技能を活用する単元・授業の構想や環境づくりにより、主体的に学ぶ力を育成する。
- ・人の話を共感的に受け止め、理解し、考え、表現する対話的な学びを通して、深く学ぶ姿勢を育成する。

前号で本年度の経営方針・重点努力目標をお示ししました。そこに示させていただいたものは、やや抽象的であるので、イメージができないものがあると思います。例えば「べんきょう」についていうと、本年度特に追加したことばに「問題を見いだす」という部分があります。具体的に授業ではどうしていくことか、子供にもイメージできるようにしたいし、教員側が「このことを大切にして授業を工夫しよう」と共有できるとよいと考えています。そこで始業式のときに、2年生から3年生には次のような話をしました。

## 【1学期始業式 式辞の一部】

### 1 あいさつを元気にしましょう

今年は1日1回「ありがとう」が言える人を探しましょう。 —省略—

### 2 「神様の耳」と「博士の目」を大切にしましょう

3つの耳の話覚えていますか。一番よい耳は「ふくろ耳」で、それを超える耳が「神様の耳」でした。「神様の耳」は、話した人の言いたかったことを上手に言い直せたり、思っていることをわかってあげられたりする耳でしたね。

今年は、それに加えて「博士の目」が持てるようになると素晴らしいと思います。「博士の目」は、授業の始めの方で「どんなことが問題かな」「どんなめあてをもつといいかな」ということを見つけられる目です。算数では……。体育では……。博士は、こういう力があるから、研究をすることができます。 —省略—

「神様の耳」と「博士の目」がもてるようになると、考える力がこれまでの2倍、3倍強くなります。今年は、この2つを目指しましょう。

### 3 健康な体づくりをしましょう

健康な体を作るためには、きちんとした食事、運動、しっかり寝ることです。

—省略—

自分のイメージする授業の姿に近づけるために、子供たちには「神様の耳」「博士の目」ということばを使うことにしました。「対話的な学び」や「主体的に学ぶ力」に必要となる資質を、子供にもイメージできるようにしたいと考えたからです。

教員側としては、本時の学習を進めていく時に、問題意識を明らかにする場面をもつ必要があると考えています。

- 「これまでの問題（計算）と、どんなところが違う？」
- 「この間試合をやってみて、どんなことをできるようにしたいと思った？」
- 「(気持の出しかえ) これを見て、もっと調べてみたいことはどんなこと？」など

これらのようなことばで、自分自身が何を学んでいこうとしているのかを自覚させ問題意識をもたせたいと考えています。習熟のための練習・活動が中心の授業や説明・解説を受ける授業もありますが、それだけでは活用・応用・実践の力は育ちません。アプローチの仕方は教科・領域、単元、授業内容によって違うと考えています。ここが研究の必要なところですよ。

大山和久教務主任さんは、今年度研究授業時に作る授業案（授業研究する時に立てる授業の計画等）の見本に、「問題を見いだす」という項目をすぐに作り、「自分事として意識させる場面」ということばに表わしてくれました。

明日の授業参観では、お子さんの学級での様子とPTA総会・引渡し訓練を目的にしますのでねらいは違いますが、今後計画的に研究を深めていきます。

